英語經((

It は小せても 大切な使われる No.96

9, February

☆ It を使う英語文

It は単語の中で最も親しみのある単語でしょう。でも、

「それは」と訳されることは**滅多**になく、いつも「形式主語・形式目的語」としの働きが多い。まるで「縁の下の力持ち」です。

① It is + 形容詞+ (for 人) to +動詞 ~

It is impossible (for you) to undestand her.

introssiste At CV 6

To undestand her is impossible (for you). と書き換えられるが、主語が長すぎ て敬遠される。

I found it impossible to marry her.

I found that I couldn't marry her. と書き換えられるが、 impossible の方が 好まれる。

② It is — that ~ のタイプ

-- の部分を強調

It is hard that I practice Kendo after school.

本当に一生懸命、放課後剣道をしている。

It is Kendo that I practice hard after school.

剣道だ、放課後一生懸命しているのは。

It is after school that I practice Kendo hard.

放課後だ、一生懸命剣道をしているのは。

上の文は I practice Kendo hard after school . をそれぞれ強調したものですが、このままそれぞれ強調したい単語を強く発音しても同じことです。自分が強く言いたいことを前に持ってくるのが、人間の心理とも思います。

(斜体文字) (大文字) でも強調の気持ちを表します。

I practice Kendo hard after school.

I practice KENDO hard after school.

Yoshi